

J A はだの

発行所 秦野市 農業協同組合 (神奈川県)
〒257-0015 秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
編集兼発行者 宮永 均

お待たせ農機展「示予約会」

2月5日(金) 6日(土) J A 全農かながわで
農業機械展示予約会が、平塚市田村の J A 全農かながわで開かれます。

農業機械の展示や営業相談コーナーなどが設けられる他、セルフメンテナン스와安全な農作業が学べるミニ講習会も開かれます。両日も午前9時から午後3時30分まで。中古農機販売会は6日(土)午前9時から入札が始まります。皆さまお気軽にご来場ください。

先駆者の功績に学ぶ 千葉と茨城訪れ

J A はだのは13、14の両日、千葉・茨城県で組合員教育事業国内視察研修会を開いた。協同の意義を再確認するとともに、農業、地域、生活などに関する幅広い学習と、組合員相互の結束を高めることが狙い。協同組合講座の受講生と修了生合わせて38人が参加した。

協同の意義を胸に刻もう

組合員教育事業国内視察研修会



幽学の旧宅で学芸員から説明を受ける参加者

一行は、千葉県旭市の大原幽学記念館を訪れ、学芸員から説明を受けた。展示資料や幽学の旧宅などを見学。農民文化と農村改革運動を説いた幽学の先祖株組合設立の功績などについて知識を深めた。

茨城県牛久市の J A 全農いばらき直営農産物直売所&レストラン「ポケ

今後の地域農業発展を誓い合う

賀詞交歓会で連携強化



万歳三唱で締めくくった賀詞交歓会

J A はだのは8日、本所で新年賀詞交歓会を開いた。役員や組合員組織の代表者をはじめ、古谷義幸市長や川口薫市議会議長の他、久保寺邦夫、神倉賢明両県議会議員ら84人が出席。新しい年の幕開けを祝うとともに、T P P (環太平洋連携協定) や農協改革などの厳しい状況を打開するため、相互の連携を強化した。

山口政雄組合長は「農業と J A を取り巻く環境は大転換期を迎えている。出席者は、互いに新年のあいさつを交わし、交流を深めた。農業や J A の課題を共有し、今後の地域農業の発展を誓い合った。

確定申告の相談は J A で

平成27年分確定申告の受け付けを2月16日(火)~3月11日(金)、各支所・支店で行います。相談される方は、関係書類をそろえた上で越越ください。なお、受け付け終了間際は混み合うのでお早めに。国税電子申告・納税システム (e-Tax) 申告にも対応します。e-Tax 申告をする場合は、個人番号カードまたは、有効な住民基本台帳カードおよび電子証明書が必要になります。詳しくは各支所・支店または組織教育課まで。☎81-7714

新たな門出を祝う

地場産で鮮やか

会部 花き部会
典飾 花き部会

花き部会は11日、成人式会場を地場産の花で装飾し、新成人の門出に花を添えた。文化会館ロビーの記念撮影ブースや、壇上を色鮮やかな花で彩った。

部会を構成するカーネーション部、バラ部、鉢物部、露地部、一般切花研究会が連携し、前日に並べた。



地場産の花に囲まれて記念撮影をする新成人

加藤政市部会長は「毎花のよう、心も人生も美しい花を咲かせてほしい」と笑顔を見せた。



新年のごあいさつ

J A 自己改革に全力で取り組み

代表理事組合長 山口政雄

新年明けましておめでとうございます。今年も組合員の皆さまにとって、辛き年であることを祈っております。現在、日本経済は緩やかな回復基調と言われていますが、停滞気味に推移しています。農業・ J A を取り巻く環境では、都市農業振興基本法の成立により、農地規制の改善や都市農業が果たす役割を明確にする運動に取り組みしていくことが求められています。一方、大筋合意に至った T P P (環太平洋連携協定) については、国会決議を順守するよう引き続き粘り強い運動を展開することが重要となっています。また、農協改革については「農業者のいのちの育成・支援、女性の所得増大」農業生産の拡大・活躍を進める農産加工の促進「地域の活性化」に先進など、多様な農家ニーズへの対応強化、仕入れ先の選定により価格メリットを創出するなど生産資材の供給に努めます。 J A はだの「食と農を基軸とする地域に根ざした協同組合」として、基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域でできつく」の実現を目指し、さらなる地域農業と協同組合運動の躍進に向けて、第四次中期経営計画を強化し、出荷者・消費者二つに合った品目の栽培指導

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

葉ニンニク販売にこぎ着け

食害なくまず順調 鳥獣被害低減で栽培

はだの都市農業支援センターと地元農家が鳥獣被害低減作物として栽培してきた葉ニンニク「ハーリック」が、販売にこぎ着けた。生産量はまだ少ないが、初回出荷分はすぐ完売する順調な滑り出し。鳥獣による食害がなかったことで、継続出荷への見通しが立った。

月末に、獣が多く出没する豊浦と堀西地区で導入した「ハーリック」をはじめ、4種類のニンニクの展示圃(ほ)を設置し、獣害を受けない産地づくりの足掛かりとした。

豊浦の展示圃を管理する諸星一雄さんは「栽培中、畑に獣の足跡はあったが、食害は見られず、無事に収穫を迎えることができた」と心なやす話をした。

出荷したじばんずの販売台には、ギョーザなどの作り方を載せたPOP(店内広告)と配布用のレシビを設置。気軽に手に取ってもらいやすい工夫と目新しさから、来店者の注目を集めた。

「ハーリック」は、葉や茎の部分を食べる葉ニンニク専用の品種。昨年9月、葉ニンニクの生産拡大を図っていく方針だ。



POPを設置して葉ニンニクを販売する諸星さん

キウイ剪定学ぶ 部員が講習会で技術共有



剪定しながら意見を交換する部員

果樹部会キウイフルーツ部は12日、曾屋の部員の圃場(ほじょう)で剪定(せんてい)講習会を開いた。部員16人が参加し、品質や収量の向上、作業の効率化につながる剪定方法を学んだ。講師を務めたJA営農課の松下一興園芸技術顧問らから、樹形を管理しや

すい一文字仕立ての整枝方法を説明した。部員は、主力品種の「 Hayward」に加え、現在、同部が生産拡大に取り組んでいる「丹沢レッド」の剪定方法も学習。実際に剪定しながら、今後の栽培管理について意見を交換した。恩威和男部長は「部員同士でしっかりと情報を共有し、品質の高いキウイフルーツを部全体で生産していきたい」と意欲を込めていた。

大豆農産物検査を実施した。毎年検査を行うことで生産者の意識を高め、消費者に安全・安心な大豆を供給している。今年度は196袋、約5・8トンを検査した。

大豆の品質を確認する営農課職員と生産者

生産者が持ち寄った「津久井在来」を営農課職員が一袋ずつ確認した。ふるいを使いながら規格をチェック。形状や病斑の有無など品質を確かめた。

「優秀賞」小野孝允(千村) 今井勲(羽根) 花き部会カーネーション部は18日、市内ほ場を巡回して立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

受賞おめでとう！
日頃の成果を發揮
神奈川県いちご連は7日、JAいせはら本所で果実品評会を開いた。審査の結果は次の通り。
▽神奈川信連経営管理委員会会長賞 須藤操(豊浦) 神奈川県いちご組合連合会会長賞 片野和彦(戸川) 神奈川青果奈野市場賞 小泉芳雄(名古屋) 入選 北村彰(堀山下)

「生懸命育てたダイコンなので、家族みんなでおいしく食べようと思います。」

北村よし江さん(柳川)「収穫した力は、家族で酢の物にして頂きます」

市に地場産 花束を贈る 日頃の支援に感謝

花き部会ハラ部とカーネーション部は12日、奈野市役所を訪れ、市にハラとカーネーションの花束を贈った。古谷義幸市長に日頃の農業支援に対する感謝を伝えた。

ハラ部の伊藤伸一部長と柳川弘一副部長、カーネーション部の小野孝允部長と樋田雅洋副部長が部を代表して古谷市長を訪問。色鮮やかな花束を手渡し、ふるさと納税を通じて農業活性化策などについて活発に意見を交換した。



古谷市長に花束を贈る部員

古谷市長は「奈野の美しい花を積極的にPRしていくことで、部員の方々も農業に一層励んで後もの協力を」と述べた。

もみなどで品質の高い花を作ろうと努力している。今後、市内の協力をお願いしたい」と述べた。

営農技術 ヒントポイント

農業技術センター 58-0333
普及指導部 果樹(伊藤) 内線374
果樹(益田) 内線372
野菜(堂田) 内線363
作物加工課(辻本) 内線364

★ 県産品種ネギ

「湘南一本」の直まき栽培

被覆を利用して根深ネギの生育促進
根深ネギの栽培は、一般的に苗を移植する方法をとりませんが、一部の冬



ネギ播種後の被覆



そこで、今年度、平塚市では3月下旬まで、播種から1カ月程度の期間、長繊維不織布の被覆保温による生育促進について試行しました。

その結果、発芽の早いネギとなり、初期生育が促進され、12月に行う3月までの移植栽培したネギと、品質および収量が同程度の根深ネギが収穫できました。

今回は、「湘南一本」を用いました。本品種は平成9年に県が育成した、辛味が少なく軟らかい良食味品種です。直売品目としてもお勧めします。



ネギの湘南一本 (堂田)

舞台が華やぐ歌や踊り

女性部は18日、秦野市文化会館小ホールで文化交流会を開いた。同部目的別趣味グループが日頃の活動の成果を発表し、新

文化交流会

たなメンバーを募るなど活性化を図った。発表者、観客ら合わせて約280人が来場し、華やかな舞台を楽しんだ。



「明日輝くために」を合演

作品ずらり目を留める

20組のグループがステージ発表で、日本舞踊やダンス、オカリナ、コーラスなど多彩な演目を披露。観客の一人は「楽しいステージ発表だった。展示作品も細かい部分までとても上手」と話した。



絵手紙や手芸などの作品が並んだ

リハビリ用具どうぞ

女性部は8日、JAテイスサービスセンターはだのりにリハビリ用具を贈った。物品の香贈は今回で5回目。昨年11月の農業



利用者にリハビリ用具を贈る小泉部長ら

クリップなど4点を用意した。小泉裕子部長と桐山容子、熊澤淳子副部長が、同センターを訪ね、利用者との交流を深めながら手渡した。小泉部長は「今の私たちの生活は、高齢者の方の活躍があったからこそ。皆さんに活用し

いよいよみそ造り

大豆で地産地消 女性部は11月13日の3日間、本所農業団地セン

「自給率向上大豆プロジェクト」の一環。14人が参加した。部員は、米とうじの発酵温度の調整や、大豆を煮る火加減などに注意



みその仕上がりを確認する部員

ターの農産加工室で、昨年収穫した大豆の「津久井在来」を使っ

スト状にし、専用の容器に詰めて仕上げた。みそは、熟成期間を経て12月ごろから味わえる。

みそ造りは全部で3回。2回目は23、25日、3回目は31日、2月2日に作業する。

調理器具で講習会

大根支部は13日、大根支所でエリックク料理講習会を開いた。調理器具を上手に使いこなし、おいしい料理を作ろうと、部員17人が参加した。



鍋メーカーのエリック(株)の担当者が講師として調理を実演。土鍋萬能鍋「ほくほくなべ」などを使って梅のおこわや肉じゃが、パイナップルケーキなど7品を作った。

部員は、加熱に掛かる時間や焼き具合などをチェックしながら、完成した料理を試食。鍋の性能を間近で確かめ、特徴を生かした調理法を学んだ。

料理メモ

南支部 草山 弥生

5分で作れるポテトチップスサラダ

<材料(4人分)>
 ポテトチップス1袋(30g)、タマネギ1個、パセリ4芽大2房、ツナ缶1缶、コーン1カップ、マヨネーズ大さじ3、マスタード小さじ1/2、酢小さじ1/2

<作り方>
 ①タマネギをスライスし、塩もみしてしんなりさせる。パセリをみじん切りし、ツナの油を切っておく。
 ②タマネギを水洗いして搾る。下ごしらえした材料をすべてボウルに入れ混ぜる。
 ③パセリ、ツナ、コーン、タマネギをマヨネーズ、マスタード、酢であえる。
 ④ボウルにポテトチップスを入れ、ざっくりと混ぜる。

<ひとことアドバイス>
 食べる直前にポテトチップスを入れます。パリパリした部分とソフトになった部分の二つの食感がおいしく、おつまみにぴったりです。パセリを入れず、のり塩味のポテトチップスを使ってもおいしいです。

世界遺産見学や観劇を楽しむ

大根北支部

各支部は、独自で日帰り旅行を計画し、部員同士の交流を図っている。北支部は12日、群馬県の富岡製糸場を訪れた。部員28人が、自動操縦機や、西洋の建築技術を取り入れた倉庫などを見学。世界遺産に登録された施設の歴史や功績などを学んだ。

大根支部は15日、東京都港区の四季劇場で、

「ライオンキング」を観賞した。部員40人が、迫力満点のミュージカルを

楽しみ、昼食は築地市場で海の幸を味わった。

富岡製糸場で建築物の説明を受ける部員

告知板

資産管理セミナーを開催
 資産運用部と税務研究会の会員を対象に、資産管理セミナーを開催します。

●開催日時 2月20日(土)午後1時30分～同3時
 ●場所 JAはだの本所3階虹の間
 ●講演内容 「相続税基本の基本」吉野広之進氏(税理士法人オフィスオハナ代表税理士) ●参加費 無料
 ●定員 100人
 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。お問い合わせは(協)協同

●申込期日 2月5日(金)まで
 ●申込先 各支所・支店
 お問い合わせは(協)協同

●申込期日 2月5日(金)まで
 ●申込先 各支所・支店
 お問い合わせは(協)協同

●申込期日 2月5日(金)まで
 ●申込先 各支所・支店
 お問い合わせは(協)協同

●申込期日 2月5日(金)まで
 ●申込先 各支所・支店
 お問い合わせは(協)協同



季節外れのユリが開花

下大槻の松木君江さんの庭先に、季節外れの白いユリが開花した。毎年松木さん宅では、8月の盆時期に何本ものユリが咲き誇るが、そのうち1本だけが1月初めに開花した。隣には、冬に色付くナンテンの実が赤く染まり、通常では見られない紅白の競演が目玉を相まわしている。

松木さんは「この時期に開花したのは初めて。霜が降りたのに咲くなんて、根性のあるユリだ」と笑顔で話した。

利用を希望する方は、西支所・佐藤までお問い合わせください。 ☎881-0004

農業労災に加入を

市内では今年度23件の労災事故が発生しています。組合員の営農と生活をを守るため、女性従事者を含めた農業労働災害保険の加入促進運動を実施しています。

●運動期間 1月27日(水)～3月10日(木)
 ●補償期間 4月1日(金)～1年間
 お問い合わせ・お申し込みはお近くの各支所・支店まで

●運動期間 1月27日(水)～3月10日(木)
 ●補償期間 4月1日(金)～1年間
 お問い合わせ・お申し込みはお近くの各支所・支店まで

●運動期間 1月27日(水)～3月10日(木)
 ●補償期間 4月1日(金)～1年間
 お問い合わせ・お申し込みはお近くの各支所・支店まで

●運動期間 1月27日(水)～3月10日(木)
 ●補償期間 4月1日(金)～1年間
 お問い合わせ・お申し込みはお近くの各支所・支店まで

●運動期間 1月27日(水)～3月10日(木)
 ●補償期間 4月1日(金)～1年間
 お問い合わせ・お申し込みはお近くの各支所・支店まで

●運動期間 1月27日(水)～3月10日(木)
 ●補償期間 4月1日(金)～1年間
 お問い合わせ・お申し込みはお近くの各支所・支店まで

平塚税務署からのお知らせ

3月15日(火)までの期間については、平塚税務署内に申告書作成会場はありません。

◆申告・納税には国税庁ホームページをご利用ください
 ○申告書は国税庁ホームページで作成！
 国税庁ホームページ(HP)の「確定申告書等作成コーナー」から申告書を作成できます。画面案内に従って金額などを入力すれば、税額などが自動計算され申告書や青色申告決算書なども作成できます。また、e-Taxを利用すれば、インターネットで提出(送信)できます。

○e-Taxを利用して申告すると特典が！
 1、添付書類の提出省略
 医療費の領収書や源泉徴収票などは、その記載内容を入力して送信することにより、これらの書類の提出または提示を省略することができます。(法定申告期限から5年間、税務署から書類の提出または提示を求められることがあります)

2、還付申告がスピーディー
 3週間程度で処理しています。
 3、24時間e-Taxの利用が可能
 次の期間にご利用いただけます。平成28年1月12日(火)～3月15日(火) ただし、メンテナンスの時間を除きます。

○様式や手引きもHPから！
 国税庁HPでは、申告書や青色申告決算書などの様式や手引きを提供しています。

◆申告書の作成・提出会場は平塚駅ビル6階ラスカホール
 ○期間は3月15日(火)まで。(土・日・祝日を除く。ただし2月21日(日)と2月28日(日)は開場します)
 ○受付は午前8時30分から午後4時まで。相談は午前9時から午後5時まで。提出は午後5時まで。
 ○公共交通機関のご利用を！
 平塚駅ビルに無料の駐車(輪)場はありません。

◆申告期限と納税期限
 所得税(復興特別所得税)と贈与税 平成28年3月15日(火)
 個人事業者の消費税 平成28年3月31日(木)

◆復興特別所得税を忘れずに！
 平成25年から49年までの各年分については、所得税と併せて申告・納付することとされています。

【お問い合わせ】
 平塚税務署 ☎22-1400(代表)

結婚相談日
 2月10日(水)
 時間 午前9時～正午
 場所 JAはだの本所 農業団地センター1階
 お問い合わせ
 組織教育課 ☎81-7714

税務相談日 2月10日(水) 午前9時30分～
法務相談日 2月22日(月) 午後1時30分～
 場所 JAはだの本所2階
 組織教育課 ☎81-7714
 ・予約制となっておりますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
 ・受け付け順に相談時間が決まります。

パート職員を募集
 (協)協同コンサルトは、パート職員を募集しています。働きやすい職場ですので、お気軽にお問い合わせください。
 ◎業務内容 賃金管理

方は、直売所の名称、問い合わせ先、営業日・時間、場所などの情報を同センター・遠隔までご連絡ください。 ☎81-778000

◎資格 パソコン操作ができる方、要普通免許
 ◎時給 920円
 ◎時間 午前9時30分～午後5時30分
 ◎待遇 雇用・労災保険、交通費規定支給
 お問い合わせは(協)協同コンサルトはだまで。 ☎81-2329(水曜日休)

はだの じばさんず 地域版

2月のイベント情報
 ※準備の都合上、内容に変更があることがあります。ご了承ください。

- ☆「ユースマルシェ」6日(土) 季節の野菜・花などの対面販売に加え、今月は部員が栽培した農産物を使った野菜スープの試食会を開きます。
- ☆「イチゴフェア」6日(土)、7日(日)、11日(木) 秦野産のイチゴを中心に販売します。
- ☆「お楽しみ詰め放題」13日(土) おいしい野菜や果物の詰め放題をします。お楽しみに！
- ☆「おすすめ品フェア」13日(土)、14日(日) お酒のつまみになるおすすめの乾物などを対面試食販売します。
- ☆「柑橘フェア」20日(土)、21日(日) 産地間提携先の雑柑を試食販売します。
- ☆「桃の節句」26日(金)、27日(土)、28日(日) 秦野産の桃の花を販売します。
- ☆「生産者のお弁当」9、23日の火曜日 農家のお母さんの手作り弁当は、旬の野菜がたくさん入っていておいしいですよ！
- ☆「試食の日」毎週火曜日 生産者が出荷している旬の農産物やレシピを紹介します。
- ☆「お米の日」毎週水曜日 店頭価格から10%引き。
- ☆「肉の日」毎週木曜日、29日(月) 秦野産・県産肉製品が5%引き。

JAはだの **バレンタイン定期貯金キャンペーン**
 キャンペーン期間 **2日間限定**
 2016年2月12日(金)・15日(月)

店頭表示 **金利10倍** プラス **バレンタインチョコレートプレゼント!**

さらに **バレンタイン定期貯金抽選プレゼント!**
 2月12日(金)・15日(月) 2日間限定
 専用の貯金枠で新設定期貯金50万円以上繰入された方を対象に抽選を行います。
 抽選で **合計100名様に「秦野産のお花」をプレゼント!**

対象 ★30万円以上の新規契約
 ★契約期間1年および3年の自動継続定期

特典 ①契約期間1年・店頭表示金利の**10倍** 契約期間3年→**0.25%**(店頭表示金利に上乗せ) (ただし、満期後の定期金利は総額から店頭表示金利に引き上げます)
 ②バレンタインチョコレートのプレゼント!!

JAはだの 信用課 ☎81-7716

婚活パーティー 開催

新たな出会いの 第一歩に

会話を楽しみながら、びったりのお相手を探してください。

日時 ●2016年2月6日(土)午後1時～同4時
 場所 ●本所3階虹・百合の間
 募集人数 ●一般女性10人程度(定員になり次第締め切り)
 参加費 ●1000円
 申し込み期限 ●2016年2月3日(水)まで

お申し込みお問い合わせは JAはだの ●組織教育課 ☎81-7714

文芸の窓

△俳句▽酒井 敏光 選

初み空肩にたすきの九十九坂 石原 松枝(淡 沢)
 健やかや身を潤して七日粥 酒井 紗恵(桜 町)
 雲千切れ狭間に覚めて雪割草 柴崎 和子(淡 沢)
 やつやくに子は社会人明の春 高橋 順子(大秦町)
 初相撲あびせ倒して五七五 柳川みち子(栄 町)
 カルタを負けず嫌いの幼き手 佐藤英美子(南矢名 満腹のはじけ家族の福笑ひ 森高 由子(淡 沢)
 開通の新幹線夢の春 芦川 松江(八 沢)
 猿年のさるの追はる松の内 選者

△短歌▽久保寺 富男 選

評 雄大な歌、ゆつくりとした調で歌われ
 ており、感動が伝わわる。
 難語をば嫁と競いて夕食後の
 テレビの前に憩うひと時 合井 かめ(羽 根)
 起きいでし人の形を保ちつつ 八木 実(鶴巻北)
 布団は一つのぬげがらとなる 小泉トシ子(清水町)
 大正より時代三つを生きて 九十残りの日々を感謝でききむ 伊東 久(淡 沢)
 暖冬に菜の花満開黄に映ゆる 金を掛けても元に戻らず 峰 孝子(千 村)
 新しきはあけつつ仰ぎ見る 連山とていつか光まてくる 選者

※仮名使いは作者の用法を尊重しています。
 ※作品集集 毎月10日締切厳守(までに
 JAはだの組織教育課宛にお送りください。

今月の理事会

1月22日に理事会を開
 催し、次のことを審議し
 ました。
 ▼第四次中期経営計画
 策定にあつての運営基
 本構想の一部変更および
 JAはだの管農経済改革
 (継続案)について
 ▼第四次中期経営計画
 (素案)について
 ▼2016年度事業計
 画基本方針(継続案)に
 ついて
 ▼利用者情報保護規程
 の廃止について
 ▼情報セキュリティ基
 本方針の一部改正につ
 いて
 ▼コンプライアンス運
 営規程の一部改正につ
 いて
 ▼組織問題審議会への
 諮問について
 ▼固定資産減損会計の
 業復帰

職員人事
 人事異動を行いました。
 た。かっこ内は旧部署。
 12月30日付
 ◎退職
 ▼国分萌里(東支所)
 1月19日付
 ◎異動
 ▼加藤明日香→秦野駅
 前支店(西支所・育見休
 業復帰)

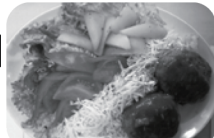
JAデイサービスセンターはだの ボランティア活動状況<12月>

日 曜	ボランティア名	内 容
1 火	石井博行	将棋、オセロ
2 水	絵手紙愛好会(加藤、柄崎)	絵手紙
3 木	石井博行	将棋、オセロ
5 土	小島繁義	将棋、オセロ
7 月	・まめの木(芦川、青木) ・サイトーダンス(2人)	お茶出し、話し相手など 社交ダンス
8 火	絵手紙愛好会(宮前、山田、谷)	絵手紙
10 木	石井博行	将棋、オセロ
11 金	・まめの木(山口) ・ブルーハーバー(5人)	お茶出し、話し相手など ハワイアンバンド演奏
12 土	・小島繁義、野木三夫 ・竹とんぼ(興谷、中山)	オセロ、将棋 音楽ボランティア
14 月	・まめの木(飯田、芦川、関野)	お茶出し、話し相手など
15 火	・南秦野保育園(29人) ・石井博行 ・やまぶきの会(石井、渡辺)	歌、お遊戯 将棋、オセロ 朗読
16 水	青葉会(6人)	舞踊
17 木	・石井博行 ・やまびこ(9人)	将棋、オセロ オカリナ
18 金	すみれ会(宇山他3人)	ちぎり絵
19 土	野木三夫	将棋
21 月	・まめの木(飯田、関野) ・矢野一博	お茶出し、話し相手など ハーモニカ演奏
22 火	・石井博行 ・ラ、ポール(5人)	将棋、オセロ 音楽療法
24 木	石井博行	将棋、オセロ
25 金	まめの木(青木)	お茶出し、話し相手など
26 土	・小島繁義 ・岩田計枝	将棋、オセロ お茶出し、話し相手など
29 火	石井博行	将棋、オセロ

大豆を食べよう! ~畑から食卓へ~

大豆の煮込みハンバーグ

上支部 守屋 悦子



【材料(4人分)】
 豚ひき肉500g、タマネギ小1個、大豆(煮たもの)1カップ、シイタケ3枚、レンコン小1個、ニンジン1本、卵1個、パン粉大さじ4、油大さじ2、ウスターソース大さじ3、ケチャップ1/2カップ、塩少々、こしょう少々、熱湯1カップ

【作り方】
 ①タマネギ、シイタケ、レンコン、ニンジンをみじん切りにして炒め、塩、こしょうを入れる。
 ②大豆を荒目に切り、すり鉢でする。
 ③豚ひき肉を粘りが出るまでよくこね、①と②を入れ、パン粉と卵を加え混ぜ合わせる。塩、こしょうで味を調える。
 ④4つに分け、空気を抜きながら形を整え焼く。
 ⑤④の中に熱湯、ウスターソース、ケチャップを加え、ふたをして煮込む。

【ひとことアドバイス】
 ハンバーグは両面をしっかりと焼き、ソースを加えたら焦げないように弱火で煮る。
 ※このレシピはJAはだの女性部大豆料理コンクールの出品料理です。

住宅ローン 年金受給手続 休日相談会

●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
 ●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。

日時 **2月21日(日)** 会場 **JAはだの本所 農業団地センター**

※時間は午前9時～午後4時まで
 ※どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。

それぞれ事前予約を 住宅ローンを相談される方は 融資課に されると便利です。 年金受給手続きを相談される方は 信用課に

JAはだの本所 秦野市平沢477

■融資課 ☎81-7713 当日は ☎0120-954-093
 ■信用課 ☎81-7716 当日は ☎0120-954-092

役立つ! 面白い! 日本農業新聞のご購読を

日本農業新聞は、日本で唯一の農業専門日刊紙です。農政、営農、流通、市況などのニュースをはじめ、健康や美容、家庭菜園、直売所、食農教育、環境などをテーマに生活に役立つ情報をお届けしています。

地域の農家や組合員を中心に、幅広い層の方々に読まれています。1月・2月は購読推進期間となっています。この機会にぜひ、ご購読ください。

毎日発行(新聞休刊日を除く) 1カ月 2,623円(税込み)

お申し込みはお近くの JA支所・支店へお気軽にどうぞ!

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
 http://www.sgrnews.co.jp/

地域営農の拠点に定着

品ぞろえも徐々に増

マルシェ活性化に一丸

鶴巻地区

鶴巻地区の生産者が毎週水曜日に鶴巻支店駐車場で開く農産物直売市「鶴巻ふれあいマルシェ」が、地域営農の拠点として定着し始めている。昨年4月のオープン以来、出荷者数や店頭並ぶ農産物の品目が徐々に増加し、取り組みが活性化。支店が生産者と消費者との交流の場になっている。

マルシェのスタートは、同支店の新装オープン記念イベントとして直売市を実施したことがきっかけ。現在、出荷者は3人増え27人、農産物も呼び掛けながら、袋詰めをサポートした。店頭に並んだダイコンやミカン、バナナなど30品目以上の農産物も次々と売れ、好評を博した。

久保寺孝一会長は「マ

毎回約30品目を取りそろえるほどに成長した。

12月23日には、通常の直売市に加えてジャガイモの詰め放題を実施。生産者は来店者に地産地消を呼び掛けながら、袋詰めをサポートした。店頭に並んだダイコンやミカン、バナナなど30品目以上の農産物も次々と売れ、好評を博した。



来店者にジャガイモの詰め方のごつを伝える久保寺会長（中央）

営農上の課題を検討

青年部が常勤理事と意見交換

青年部は12日、本所で学習会を開いた。営農や組織の課題を共有し、より良い営農環境やJA連携に意見交換。

営につなげようと、常勤理事との話し合いを企画。部員と役員22人が参加した。

話し合いでは、JAが第二次地域農業振興計画

を盛り上げていきたい」と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

と意欲を燃やしている。

鳥獣被害を軽減しよう 地域で力合わせ防除

秦野市内の各地で、鳥獣による農産物への被害が深刻化している。被害を軽減しようと、はだの都市農業支援センターを中心に、地元農家らが一丸となって防護ネットや捕獲檻（おり）の設置などの対策を進めている。



防護ネットを張り付ける組合員

設置。組合員や大根支所の職員ら14人が作業に励んだ。

これまで捕獲檻を活用した対策を講じてきたが、さらに強化しようと大根地区では初めて防護ネットの設置に乗り出した。組合員らは、ホウレンソウやダイコンなどを栽培するほ場の周囲500mにわたり、防護ネットを張った。協力して支

柱を選び、害獣の通り道を確認しながら作業を進めた。

組合員の宮村俊男さん

ら選択ができます。

新規就農コースについては次の説明会を開催します。希望の方は、どちらかの日を申し込んで必ず出席してください。当日申込書を配布します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。

はだの市民農業塾の各コース

コース	新規就農コース	基礎セミナーコース	農産加工起業セミナーコース
対象者	新たに農家として農業参加を希望する方（年間50万円以上の売り上げを目標）	市民農園などの利用者および利用希望者（農園に空きがない場合があります）	農産加工品の製造販売を希望する方
内容	就農に必要な知識・技術の習得（原則2年間の実習）	座学（講義）を中心とした基礎的な学習	農産加工品の製造販売に必要な知識の習得
受講場所	表丹沢畑山下ふれあい農園研修農場	JAはだの本所	JAはだの本所
募集人数	10人程度	30人程度	20人程度
受講料	20,000円	8,000円	3,000円
期間その他	(1年目) 3月～翌年1月の毎週水曜日 *その他農家研修水曜日以外にも必要に応じて収穫などの作業を実施 (2年目) 3月～翌年1月農場実習を中心とした実践研修、その他農家研修	3～12月の土曜日 月1～2回程度	4～9月の月1回程度
申し込み	説明会の開催時に申し込み ※面接選考あり	電話での先着順受け付け ※受け付けは2月1日（月）から	

野菜ソムリエが七草がゆ振る舞う



来店者に七草がゆを振る舞う野菜ソムリエ

野菜ソムリエの資格を持つ農家で組織する「はだの野菜ソムリエ倶楽部（くらぶ）」は5日、はだの野菜ソムリエがゆの試食会を開いた。1年を健康に過ごしてもらおうと、地場産の農産物で作った。

◎日時 2月17日（水）20分～午後1時30分
◎場所 JAはだの本所 農業団地センター3階
お問い合わせ・申し込みは、はだの都市農業支援センターまで。☎7800



連携して捕獲檻を設置

組合員らは連携しながら昌蒲地区の四十八瀬川沿い水田や、三廻部地区の果樹園周辺などに捕獲檻を設置した。昌蒲第一生産組合の和田秀明組合長は「鳥獣害対策をすることは良い住環境の整備につながる。今後もしっかりと協力して捕獲檻を管理していきたい」と話した。

雪国体験楽しんで

子ども村に97人



かまくらの中での民話朗読を楽しんだ

J A はだのは、6日の2日間、新潟県南魚沼市で第11回冬休み子ども村を開いた。子どもたちに食と農の大切さを伝え、健全な成長を促すことが目的。秦野市内の小学3〜6年生97人が参加した。

児童は、日頃できない食と農について理解を深かまぐら作りや雪合戦のめた。他、地元住民による民話 参加した児童からは「他の学校の子どもと友達にを体験した。また、地場なれて良かった一みん産の米を使った餅つきに などで協力しているいるな沼市の農業をテーマにした」など笑顔があふれた。



みんなで餅つきに挑戦

かまくら作りや餅つき



作柄占う神事 富士講が 伝統の筒粥 農作物の作柄を占う伝統行事「筒粥(つつがゆ)神事」が12日、東田原で

行われた。地元農家らで構成する富士講のメンバー6人が神事を執り行った。メンバーは祝詞を挙げ、おめでとーごさいませ。未永くお元氣でお過ごしください。

88歳(米寿) 長寿者に記念品贈呈 くいぎん支障業 77歳(喜寿) 大根地区入保田忠 秋(南天)星野年男(南矢名) 本町地区富永恵子(曾屋) 南地区小泉征四郎(今泉) 西地区岩佐捨造(千村)高木威(千村) 角田文夫(堀西) 堀川石井トシ子(堀) 該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

発見 頑張り屋

No.393

鶴巻で(株)飯塚工務店を営む飯塚登志男さん。同地区で長年「住の相談役」として活躍する祖父と父の背中を見て育った。高校卒業後は専門学校で建築の知識を習得。21歳から同店は働き、40歳で経営を引き継いだ。同店は創業80年。父が有

人とのつながり大切に



鶴巻の飯塚 登志男さん(61)

は、祖父の大手仕事か限会社に、登志男さんが株式会社「形を愛え」で働き、2015年

「頼んで良かった」と感謝されること。ご予算が限られている中

新築やリフォーム、エクステリアなどの注文住宅事業です。お客さまの要望と建設作業をする職人の意見をまとめるのが、一つの住宅を造り上げます。心掛けています。あいつはもうろん、分かりやすい説明や現場をきれいにしておくことなどにも気を配っています。お客さまの紹介で仕事を頂くことが多く、人のつながりを大切にしています。若い世代を育てていくことも、若者が持つ新しい情報を取り入れ、時代の変化に対応していくことで今後の仕事につながると思っています。

小正月 どんと焼き飾り

じばさんずじばさんず

出荷者グループ

鮮やかな団子を豪華にしらたど



色鮮やかな団子を飾るメンバー

団子は全そ地粉を使っりてメンバが手作りした。コナラの枝に、赤、白、黄、緑の色とりどりの団子や大判小判、野菜などをかたどった団子飾りを作った。その後、試食用に作った団子

園児と一緒に おんべ竹と繭玉 上地区住民

前場さんは「体験した子どもたちが、成長して次代に継承してくれると嬉しい」と期待を寄せた。

のが心配だが、作柄は平年並みと出た。神事の結果を元に、今年も一生懸命、一緒に飾り付けをした。おんべ竹は、役目が終わった正月飾りなどを舟形に飾り付け、どんと焼きの際に倒れた方向で一年の作物の吉凶を占う農耕儀礼。三廻りの前場芳雄さんが中心となり、地域住民らが竹や木、しめ縄などを設置した。前場さんは、園児に「おんべ竹を飾る繭玉飾りを指導。園児は赤や黄色など4色の団子を使って飾り付けを完了させた。

地場産農産物で オリジナル商品

地域農業盛り上げに一役

J A はだのは地域農業を盛り上げようと、地場産農産物を活用したオリジナル商品の開発に取り組んでいる。商品を通して地場産農産物のおいしさを広くPRするとともに、農家の所得向上や地域活性化につなげる。

おもしろ好き ダイコン使いたれ

じばさんずは、地場産のダイコンのうま味を凝縮したしょうゆベースのおもしろだれ「おもしろ好き」の販売を、昨年12月から始めた。「おもしろ好き」は、ダイコンやニンニクの風味が食欲をそそり、野菜や肉、魚などさまざまな料理と合う味に仕上がっている。

秦野うどん 強力粉でしこしこ

J A はだのは、地場産うどんに活用したことを小麦を100%使った丸で生まれた食感の良さ「しこしこ」を、強力粉でしこしこした、この強さと、丸細のつるりとした喉越しを兼ね備えた逸品に仕上がっている。

ルのデザインは「秦野たばこ祭」のたいまつをイメージした。「おもしろ好き」は、同店で1本484円(190g)で、販売している。



地場産農産物を活用した「おもしろ好き」と「秦野うどん」

げた。外皮や胚芽まで製粉するため廃棄部分が少ない、鉄分やビタミンEなどの栄養素も豊富だ。当初は、昨年10月に開いた秋の座談会限定の出席記念品として製造。約5200袋を配布したところ、組合員から大きな反響があり、販売に踏み切った。じばさんずや特産センター「秦野・渋沢商店」などで、1袋250g入り168円で販売している。

には、強力粉の「エメシホウ」を使用。しこしこした、この強さと、丸細のつるりとした喉越しを兼ね備えた逸品に仕上がっている。



梯子の上で伝統の妙技を披露する農職人

梯子乗りで 新年祝う

じばさんずは5日、秦野(とび)工組合による出初め式が開かれた。農職人が「若鷺会新春梯子(はしご)乗り」を披露し、新たな年の門出を祝った。

梯子乗りは毎年、農作物の豊作や同店の繁栄、農家・来店者のますますの健康を祈願する恒例行事。

農口を使って垂直に固定した高さ約6mの梯子の上で、3人の乗り手が次々と華麗な技を披露した。右足だけで体を支える「膝留め(ひざどめ)」や、宙に水平に体を乗り出す「唐草」など、力強い伝統の妙技が決まる

と、来店者から大きな歓声が沸き起こった。その後、来店者やJA役員員に向けて縁起の良い「木遣り唄(きやりうた)」を披露し、迎春の祝意を表した。

接近! おじやばす

「息子が農業を継いでくれて心強い」と笑顔で話すのは、首屋で野菜や果樹を栽培する古藤登さん。農家の長男として生まれ育ち、農業高校に進学。卒業後は建築関係の仕事に就いた。父が元氣なうちに農業を教わろうと、38歳の時に就農を決意し、今では30年以上農作業に励む毎日



首屋の 古藤 登さん(71)

苦勞乗り越え 一家で農業

過ごしている。農作業は、妻と二昨年に就農した息子の3人で協力。現在、約150坪のほ場をダイコンをメインにブドウやキウイフルーツなど年々5畝のほ場を栽培し、の発展に尽力してきた。現在は自治会長として活躍。地域の方々にはお世話になってきたから少しでも貢献したい」と意欲を燃やしている。

長年農業に励んできたが、決して順調な道ではなかった。頻発する鹿やイノシシによる農産物への被害などに加え、自身は5年ほど前に心筋梗塞を発症。急ぎ入院し、そのシーズンのダイコンをほとんど出荷できないこともあった。さまざまな苦勞を経験しても「生懸命育ててきたものがおいしくできたときはうれい。体が続く限り頑張りたい」と笑顔を見せる古藤さん。「息子には自分なりのスタイルを確立してほしい。今後モサポートしていきたい」と意気込みを語った。

JAe... 4

協同組合間の連携重要

現在、日本には農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、生活協同組合など、さまざまな協同組合があり、携が重要です。これからの仲間と交流を深め、共に協同の意義を再確認しています。年11月には協同組合フェスタを開き、生活協同組合、ユニコープなどと協同組合同士に合わせ、模擬店を出店。協力して協同組合員と農業者の交流を深め、同組合を市民に広くPRし、修会を開催。JAの役員です。

- 次ぎを行ってまいります。
 - ◎キャッシュカードの紛失・盗難 J Aバンク
 - ◎交通事故が起った場合 J A 共済事故受付センター ☎0120-200-5893
 - ◎JAカードの紛失・盗難 NICOSカード ☎0120-159-674
 - ◎ガス器具に関すること 全農LPガス保安センター ☎046-231-2011
 - ◎ご葬儀に関すること J A セレモニーホール ☎0120-347474